

令和2年度

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

公益財団法人高知県のいち動物公園協会事業計画及び収支予算書

高 知 県

目 次

1	令和2年度事業計画	-----	1
2	令和2年度収支予算書	-----	7
	令和2年度収支予算書内訳表	-----	9

令和 2 年度事業計画

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 3 1 日)

第 1 基本方針等

1. 人も動物もいきいきとする動物公園の管理運営の実施

高知県立のいち動物公園は、県民の健康の増進と教育・福祉の向上を目的とする本格的な動物公園を有する都市公園法に基づく総合公園として設置されており、公益財団法人高知県のいち動物公園協会（以下「協会」という。）は、その設置目的を達成するため「人も動物もいきいきと」を合い言葉として、自然豊かな環境の中でいきいきとした動物たちを観覧しながら楽しみ、遊び、学べる動物公園として管理運営を行います。

2. 県民に信頼される動物公園の管理運営の実施

高知県立都市公園条例や各種法令等を遵守するコンプライアンス意識と透明性の確保、さらに来園者等の安全性を確保するとともに、南海トラフ地震や感染症等に対する危機管理意識を高く持って、県民に信頼される管理運営を行います。

3. 動物公園の平等利用に関する考え方

県立の都市公園施設として、子どもたちや家族連れはもちろんのこと、高齢者や障がい者、さらに外国の方等来園者全てが等しく施設を利用しサービスを楽しむことができるようにするとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設に進化するように、PDCAサイクルを機能させて、ハードとソフト両面でのサービスの改善を図りながら利用者本位の管理運営を行います。

協会としての理念 ～協会が目指す動物公園～	
人も動物もいきいきとする動物公園	県民に信頼される動物公園
理念を実現するための基本方針	
①レクリエーションの場としての使命・役割を最大限に発揮し、より多くの来園者を迎えます。 ②種の保存に貢献します。 ③自然保護の大切さを多くの方々に伝えていきます。 ④人と動物にやさしい管理運営を行います。 ⑤地域や関係団体との連携に努めます。	①人と動物に安全な管理運営を行います。 ②危機管理体制を構築します。 ③職員の専門性の向上などに取り組みみます。 ④経常収支の黒字を目指します。

こうした管理運営を行うことによって、年間入園者数 18 万人台を目指します。

第2 実施計画

1 高知県立のいち動物公園の維持管理運営事業

(1) 施設等の維持管理業務

ア 安全性の確保

○職員等による施設等の日常点検や関係法令に基づく点検や検査、計画的な修繕を実施することで、施設等の安全性を確保します。

イ 災害・危機管理への対応

○地震発生時における災害防止と被害軽減を図るため、地震防災対策規程を作成しており、その規定に基づき防災資機材の整備や避難誘導訓練等を実施し、来園者や職員等の安全を確保します。

ウ 快適性の確保

○園内の清掃は、入園者の状況やイベントの開催状況、季節的な要因も加味して実施するとともに、園内の全面禁煙への協力を要請していきます。

エ 施設の平等利用

○動物公園内の案内表示については、大きな文字やピクトグラム（視覚記号）を活用し、見やすく感覚的に分かりやすいように常に意識し、新設、更新を行っていきます。

オ バイオームゾーニングの維持

○動物と植物を一体化し生息環境を再現するバイオームの各ゾーニング（温帯の森、熱帯の森等）に相応しい植栽の整備を行います。

(2) 動物の飼育等

ア 展示動物の確保と見直し

○ブリーディングローンや飼育動物の交換等により、展示動物の確保を図るとともに、確保が困難な動物種については、現状レベル以上の展示効果を目指して動物種の変更を検討し県に提案していきます。

○令和3年度の30周年記念事業として新規展示が予定される動物種の飼育管理に関して、先進園等への視察・調査を行います。

イ 飼育管理

○飼育作業上の安全管理を徹底し、飼育職員と飼育動物双方の事故防止を図ります。

○飼育動物それぞれの生態特性を十分に把握し、動物福祉の観点から動物が快適に暮らせる飼育環境を整備し提供します。

ウ 動物の展示方法

○種の特性を踏まえた展示環境・展示内容を常に考慮・検討し、展示場はできるだけ生息環境に近づける工夫をします。

エ 動物の繁殖

○動物の希少性や入手難易度、繁殖状況等により分類した繁殖カテゴリー

表に基づき、動物管理計画の中で繁殖計画を策定し実施します。

オ 動物の整理

○繁殖等で余剰となった動物については、密飼い防止や経費・労力の節減等のため、適正な利用目的で要望する園館等へ搬出します。

カ 緊急時の対応

○飼育動物が脱出した場合を想定し策定した動物脱出対策規程に従い、特定動物種（チンパンジーやブチハイエナ等）が脱出した場合を想定して、捕獲・収容等の訓練を実施します。

キ 緊急保護動物の受入れ

○(公社)日本動物園水族館協会を通じた経済産業省からの依頼により、密輸等で緊急保護された動物の受入を行います。

(3) 地域や関係機関との連携や協働

- のいち動物公園ボランティアーズ（NZV）と連携・協力して、動物解説やイベント等を実施し、来園者サービスの向上を図っていきます。
- 物部川DMO協議会や近隣の施設をはじめ、高知県や香南市等と連携・協働し、イベントの企画や情報発信に努めます。

(4) 安全の確保

- 来園者の安全を確保するため、進入禁止区域などの注意表示の設置に加え、来園者への緊急情報の伝達は、園内放送や職員などからの伝達により実施します。
- 職員の安全を確保するため、安全衛生推進員等による巡回指導に加え、業務上の作業の必要性に応じて、安全衛生教育等を受講させます。

(5) 来園者ニーズ等への対応

- 「のいちの風委員会」や来園者満足度調査、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）やトリップアドバイザー等を通じていただいたご意見を業務の改善に活かしていきます。
- 春休みやお盆期間等には、定休日にも開園します。
- 接客マナーのより一層の向上を図るため、外部研修会等へ職員を参加させます。
- 苦情については、欠点を改める良い機会と捉え、誠意をもって速やかに対応するとともに、協会内での情報共有に努めます。

(6) 入園者を増やす取り組み

ア 宣伝・広報による情報発信

○メディアにイベント情報などを記事やニュースとして取り上げやすいような表現・内容で情報発信に努めます。

- ホームページで来園者が求める情報を分かりやすく提供するとともに、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を通じてフォローワーにダイレクトに動物公園の新しい情報をお伝えし、少しでも情報を拡散してもらえるように取り組みます。
- 県西部や香川県等の高速道路周辺の学校訪問や、高齢者福祉施設等の訪問を実施し、利用促進を図ります。
- 令和3年11月の開園30周年を控え、ポスターやチラシ、オフィシャルグッズ等の製作準備を進めます。

イ 教育活動

- 生物多様性の保全や環境教育、生涯学習の場としての役割を果たす動物展示やイベントを実施します。
- バイオームの各ゾーン（温帯の森、熱帯の森等）の修景・植栽を活用し、教育効果を引き出せるように解説等のサインを更新していきます。
- 小学校等からの要請に応じて、遠足時や校外学習の一環等として、モルモットを実際に抱いてもらうふれ合い教室や、普段は見ることのできない獣舎見学や職員による動物解説などの団体レクチャーを実施するほか、職員が学校等へ出向いて授業を実施します。
- 中学生と高校生を対象とした職場体験学習や、専門学校生等の飼育実習等を実施します。
- 校外学習の副教材として、「動物観察シート」を地元教員の意見も取り入れて作成し提供することで、動物公園内で動物を観察しながら動物の特徴や種による違いを学習する機会を提供します。

ウ 施設の平等利用のための取り組み

- 障がいのある子どもらを閉園後に招待する「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」や、視覚に障害のある方を主な対象とした「さわる動物園」を開催し、障がい者の利用促進を図ります。
- ミルク用お湯の提供やベビーカー、車椅子、傘の貸し出し、外国語パンフレットの常設などに取り組みます。
- 園路の坂道が苦手な高齢者等への対応として、ジャングルミュージアムのエレベーターを利用した観覧コース「緩やかコース」を設定しており、その広報に努めます。

エ 動物や動物公園を紹介するイベントの実施

- 大人も楽しめる「夜の動物公園のいち de ナイト」や夏休み、正月といった季節毎のイベント、さらには動物の繁殖や搬出入時のイベントなどに加えて、令和2年度内に達成が見込まれる来園者500万人を記念したイベントを実施します。
- どうぶつ科学館などでの企画展や動物公園の外へ出向いて出張企画展等を開催します。

オ 自然・体験型キャンペーンへの参加

- 高知県が推進する自然・体験型キャンペーン期間（令和2年12月まで）中に、動物公園の園路や自然散策路などを活用し野鳥観察会等を開催します。

（7）動物サポーターを増やす取り組み

- 特定の飼育動物の餌代を支援していただき、里親として飼育動物たちに愛着を持っていただく動物サポーターを増やすために、園内の動物サポーター宣伝ブース等での広報に力を入れて入会を促します。

（8）来園者への飲食サービスやオリジナル商品の販売等

- レストランでは、県内の産品を活用したメニューを取り入れ、地産地消に結び付くように運営するとともに、屋台では軽食を中心に販売し、来園者サービスの向上に努めます。
- 売店では、動物公園らしい商品構成を目指し、オリジナル商品の開発に取り組むとともに、POSレジによる効率的な商品管理を実施し、購買情報の分析により売上げ増に努めます。
- 入口ゲートと売店では、昨年度導入したキャッシュレス決済サービスにより業務の効率化と利用者の利便性の向上に努めます。

（9）リサイクルの取り組み

- キリンなど草食動物の糞、敷き藁等を原料として発酵機にかけて行う有機肥料の生産を行い、生産した有機肥料を来園者や自家菜園等の希望者に無料配付し、環境教育にも繋げていきます。

2 野生動物の保護及び調査研究事業

（1）野生動物の保護

- 県の傷病野生鳥獣保護治療事業の一環として野生動物を保護し、治療やリハビリを経て野生復帰させる他、ホームページでの情報発信やバードリハビリケージの公開等を通じて、自然保護や野生動物保全の重要性についての啓発を図ります。

（2）野生動物の調査研究

- 動物公園内では、アサギマダラのマーキング調査を継続実施する他、野鳥や昆虫等の生息調査を行い、その調査結果を野生動物や自然認識の啓発に活用します。また、関係機関と連携して、地域に生息する野生動物の調査研究に取り組みます。

3 支援・協力事業

(1) のいち動物公園友の会事業

○のいち動物公園の飼育動物や野生動物、自然環境等について共に楽しく学習する「のいち動物公園友の会」の会員を募集し、飼育体験や野外活動、講習会等を行います。

(2) 動物愛護事業

○動物とのふれあい教室や小学校等への出前授業等の各種講習時に命の大切さなど、動物愛護の啓発普及に努めます。

○高知県動物愛護推進協議会が主催する「動物愛護のつどい」に参加し、各種イベントを開催します。

令和2年度収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	1,000	1,000	0
特定資産運用益	2,167,000	2,967,000	△ 800,000
運営基金受取利息	2,167,000	2,967,000	△ 800,000
受取会費	210,000	390,000	△ 180,000
のいち動物公園友の会受取会費	210,000	390,000	△ 180,000
事業収益	473,017,000	475,223,000	△ 2,206,000
管理代行事業収益	427,812,000	436,023,000	△ 8,211,000
管理代行事業収益	402,918,000	411,355,000	△ 8,437,000
入園料等収入	24,894,000	24,668,000	226,000
寄託動物管理費収益	160,000	160,000	0
便益事業収益	45,045,000	39,040,000	6,005,000
動物購入受託収益	0	0	0
受取寄付金	1,155,000	1,015,000	140,000
受取寄付金	100,000	70,000	30,000
サホ-タ-収益	1,055,000	945,000	110,000
雑収益	970,000	1,198,000	△ 228,000
受取利息	580,000	597,000	△ 17,000
雑収益	390,000	601,000	△ 211,000
経常収益計	477,520,000	480,794,000	△ 3,274,000
(2) 経常費用			
事業費	472,886,000	476,127,000	△ 3,241,000
役員報酬	5,689,000	5,689,000	0
給料手当	153,945,000	154,344,000	△ 399,000
賃金	38,269,000	38,096,000	173,000
退職給付費用	12,474,000	26,300,000	△ 13,826,000
福利厚生費	31,550,000	31,077,000	473,000
会議費	32,000	28,000	4,000
報償費	1,880,000	1,774,000	106,000
旅費交通費	1,955,000	1,203,000	752,000
通信運搬費	2,515,000	1,717,000	798,000
減価償却費	100,000	1,000,000	△ 900,000
什器備品費	1,908,000	3,000,000	△ 1,092,000
消耗品費	18,086,000	15,421,000	2,665,000
修繕費	12,269,000	12,000,000	269,000
印刷製本費	2,403,000	2,164,000	239,000
燃料費	896,000	1,100,000	△ 204,000
光熱水料費	30,113,000	37,600,000	△ 7,487,000
賃借料	5,589,000	5,950,000	△ 361,000
飼料費	40,548,000	39,000,000	1,548,000
保険料	838,000	967,000	△ 129,000
広告費	5,312,000	4,000,000	1,312,000

令和2年度収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	1,343,000	666,000	677,000
諸謝金	0	0	0
租税公課	21,810,000	21,371,000	439,000
負担金	811,000	769,000	42,000
原材料費	6,548,000	6,026,000	522,000
商品売上原価	17,500,000	15,000,000	2,500,000
委託費	54,673,000	49,835,000	4,838,000
雑費	30,000	30,000	0
予備費	3,800,000	0	3,800,000
管理費	4,634,000	4,667,000	△ 33,000
役員報酬	689,000	439,000	250,000
給料手当	2,584,000	2,584,000	0
賃金	0	0	0
福利厚生費	401,000	401,000	0
会議費	4,000	82,000	△ 78,000
旅費交通費	38,000	47,000	△ 9,000
通信運搬費	31,000	31,000	0
消耗品費	100,000	100,000	0
修繕費	0	0	0
印刷製本費	89,000	56,000	33,000
賃借料	17,000	50,000	△ 33,000
保険料	36,000	33,000	3,000
手数料	9,000	9,000	0
諸謝金	138,000	520,000	△ 382,000
租税公課	300,000	150,000	150,000
委託費	198,000	165,000	33,000
経常費用計	477,520,000	480,794,000	△ 3,274,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
中科目別記載	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
中科目別記載	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	38,312,521	37,607,601	704,920
一般正味財産期末残高	38,312,521	37,607,601	704,920
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	298,455,163	298,455,163	0
指定正味財産期末残高	298,455,163	298,455,163	0
III 正味財産期末残高	336,767,684	336,062,764	704,920

令和2年度収支予算書内訳表 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで（単位：円）

事業名称 科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	1 のいち動物公園の維持管理運営事業	2 野生動物の保護及び調査研究事業	3 支援・協力事業	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	1,000	0	0	1,000	0	0	1,000
基本財産受取利息	1,000	0	0	1,000	0	0	1,000
特定資産運用益	1,811,000	90,000	266,000	2,167,000	0	0	2,167,000
運営基金受取利息	1,811,000	90,000	266,000	2,167,000	0	0	2,167,000
受取会費	0	0	210,000	210,000	0	0	210,000
のいち動物公園友の会受取会費	0	0	210,000	210,000	0	0	210,000
事業収益	468,266,000	117,000	0	468,383,000	4,634,000	0	473,017,000
管理代行事業収益	423,061,000	117,000	0	423,178,000	4,634,000	0	427,812,000
管理代行事業収益	398,167,000	117,000	0	398,284,000	4,634,000	0	402,918,000
入園料等収入	24,894,000	0	0	24,894,000	0	0	24,894,000
寄託動物管理費収益	160,000	0	0	160,000	0	0	160,000
便益事業収益	45,045,000	0	0	45,045,000	0	0	45,045,000
動物購入受託収益	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	1,155,000	0	0	1,155,000	0	0	1,155,000
受取寄付金	100,000	0	0	100,000	0	0	100,000
サポーター収益	1,055,000	0	0	1,055,000	0	0	1,055,000
雑収益	870,000	0	100,000	970,000	0	0	970,000
受取利息	580,000	0	0	580,000	0	0	580,000
雑収益	290,000	0	100,000	390,000	0	0	390,000
経常収益計	472,103,000	207,000	576,000	472,886,000	4,634,000	0	477,520,000
(2) 経常費用							
事業費(法人会計は管理費)	468,303,000	207,000	576,000	469,086,000	4,634,000	0	473,720,000
役員報酬	5,689,000	0	0	5,689,000	689,000	0	6,378,000
給料手当	153,945,000	0	0	153,945,000	2,584,000	0	156,529,000
賃金	38,269,000	0	0	38,269,000	0	0	38,269,000
退職給付費用	12,474,000	0	0	12,474,000	0	0	12,474,000
福利厚生費	31,550,000	0	0	31,550,000	401,000	0	31,951,000
会議費	12,000	0	20,000	32,000	4,000	0	36,000
報償費	1,860,000	0	20,000	1,880,000	0	0	1,880,000
旅費交通費	1,905,000	0	50,000	1,955,000	38,000	0	1,993,000
通信運搬費	2,415,000	0	100,000	2,515,000	31,000	0	2,546,000
減価償却費	100,000	0	0	100,000	0	0	100,000
什器備品費	1,908,000	0	0	1,908,000	0	0	1,908,000
消耗品費	17,894,000	83,000	109,000	18,086,000	100,000	0	18,186,000
修繕費	12,269,000	0	0	12,269,000	0	0	12,269,000
印刷製本費	2,343,000	0	60,000	2,403,000	89,000	0	2,492,000
燃料費	896,000	0	0	896,000	0	0	896,000

令和2年度収支予算書内訳表 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで（単位：円）

事業名称 科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	1 のいち動物公園の維持管理運営事業	2 野生動物の保護及び調査研究事業	3 支援・協力事業	小計			
光熱水料費	30,113,000	0	0	30,113,000	0	0	30,113,000
交際費	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	5,477,000	0	112,000	5,589,000	17,000	0	5,606,000
飼料費	40,474,000	74,000	0	40,548,000	0	0	40,548,000
保険料	828,000	0	10,000	838,000	36,000	0	874,000
広告費	5,312,000	0	0	5,312,000	0	0	5,312,000
手数料	1,283,000	50,000	10,000	1,343,000	9,000	0	1,352,000
諸謝金	0	0	0	0	138,000	0	138,000
租税公課	21,810,000	0	0	21,810,000	300,000	0	22,110,000
負担金	756,000	0	55,000	811,000	0	0	811,000
原材料費	6,548,000	0	0	6,548,000	0	0	6,548,000
商品売上原価	17,500,000	0	0	17,500,000	0	0	17,500,000
委託費	54,673,000	0	0	54,673,000	198,000	0	54,871,000
雑費	0	0	30,000	30,000	0	0	30,000
予備費	3,800,000	0	0	3,800,000	0	0	3,800,000
経常費用計	472,103,000	207,000	576,000	472,886,000	4,634,000	0	477,520,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	36,408,819	0	0	36,408,819	1,903,702	0	38,312,521
一般正味財産期末残高	36,408,819	0	0	36,408,819	1,903,702	0	38,312,521
II 指定正味財産増減の部							
受取補助金等							
一般正味財産への振替額							
当期指定正味財産増減額							
指定正味財産期首残高	298,455,163	0	0	298,455,163	0	0	298,455,163
指定正味財産期末残高	298,455,163	0	0	298,455,163	0	0	298,455,163
III 正味財産期末残高	334,863,982	0	0	334,863,982	1,903,702	0	336,767,684